

創立70周年だより 第10号



「つづく つながる
夢を育てる学び舎」

令和4(2022)年2月28日
国立市立国立第二小学校
校長 小林 理人



ご挨拶にかえて

令和2年(2020年)6月、同年2月から続いた緊急事態宣言の解除を受けて学校が再開しました。国立二小にとって節目となる2020年は、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催も予定されていた記念すべき1年でした。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大により感染への不安や心配が継続することや、臨時休業した2か月間の学習や子供たちが楽しみにしている行事の保障等を考え、本校では記念式典と記念誌づくりを1年間見送る計画を立てました。そして、そのことを前向きに受け止め、歴史的にも大きな節目となる70周年記念事業を2年間にわたって行うこととし、以下のことを実施しました。

＜にしょうのあしたにたねをまこうプロジェクト＞

70回目の開校記念日に創立70周年をお祝いする集会を行いました。集会では当時の5年生が中心となり全校ダンス「パプリカ」を踊りました。また、二小の伝統「二松ソーラン」を6年生が披露しました。6年生が芝生校庭いっぱいに描いた「70」の人文字が印象的でした。

そして、PTAの皆様からは現在の校舎のジオラマ模型をいただきました。校庭の樹木や思いの詰まった遊具など実物そっくりにつくられたジオラマ模型に子供たちも大喜びでした。

＜夢と感謝がつまった希望あふれる創立70周年記念展覧会＞

昨年度の展覧会は創立70周年を記念する展覧会として代表委員会を中心に、どんな展覧会にしたいかを話し合い、スローガンを「夢と感謝がつまった希望あふれる展覧会」と決定しました。子供たちは作品を通して「夢」「感謝」そして未来への「希望」を表現しました。6年生は二小への想いや姿を後世に伝えるための卒業制作として新しい校舎に取り付ける校名板を作製しました。

2年目を迎えた2021年も新型コロナウイルスの感染は周期的に拡大しました。その中でコロナ禍の新しい生活様式も少しずつ定着し、東京2020オリンピック・パラリンピックは開催方法を工夫して実施され、数々の思い出や成果が私たちのレガシーとなりました。そして、本校でも予定していた運動会や学芸会を「学習発表会」という密を避けた新しい形で実施しました。

＜創立70周年記念式典＞

第6波となる新型コロナウイルスの感染拡大により、感染への不安や心配を抱える子供たちの日常生活や学習の安定を最優先するために2月18日(金)に予定された創立70周年記念式典を記念誌による紙面開催とする決定をしました。そして、教職員や子供たちとともにこの2年間培った「今できること」に挑戦する力を活かして、二小への想いや、支えてくださっている人への感謝の気持ちを伝える方法を考えました。それが3月1日(火)に実施する「創立70周年を祝う会」です。

記念事業の締めくくりとなる祝う会は、どんな状況でも無理なく実施できるオンライン開催で行います。そして、その実施にあたっては永見理夫市長や雨宮和人教育長から私たちへの温かいメッセージをいただきました。そのメッセージをしっかりと受け止め、みんなで作った動画や作品に込められた感謝や喜びをみんなで共感し、2年間の締めくくりとします。

2年間にわたり本校の創立70周年記念事業をご支援いただいた皆様に心から感謝申し上げます。